

0

150 cm

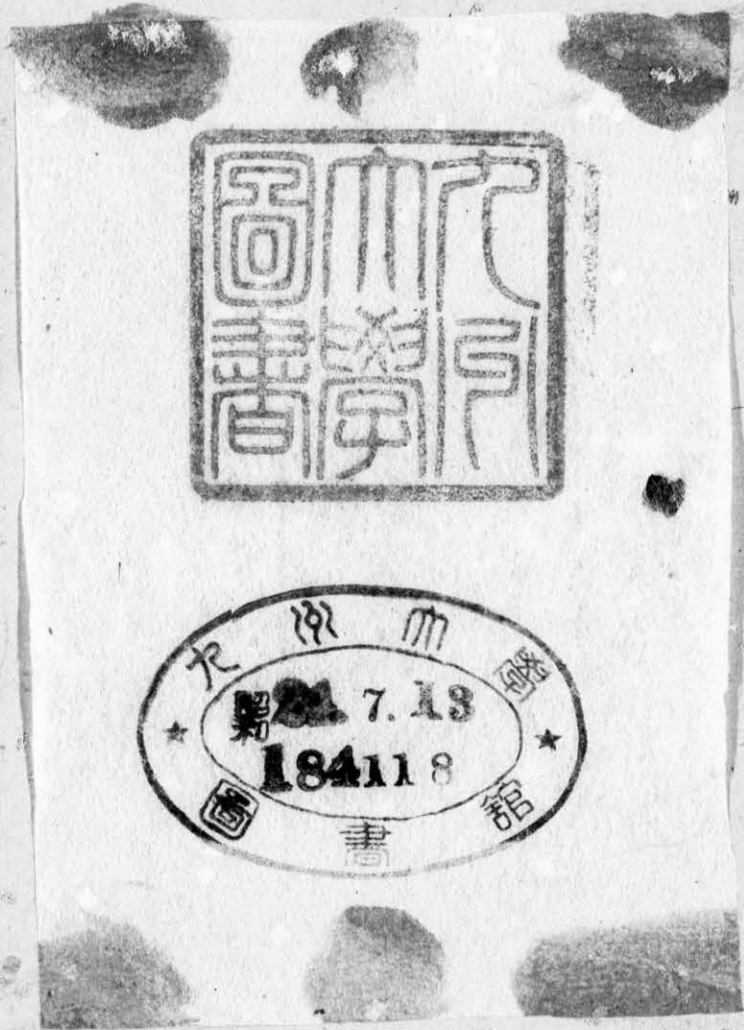
10

3

SEKISUI JUSHI

20

770
△
1



安言文

人よまされぬるうらうら
 みそ一箇うらうら
 うらうらあうらの後とわうら
 醫書もこのうらうら
 長久はうらうらのうらうら
 あうらうらうらうら
 陰陽は和合とうらうら
 押さうらうらうら

皆人の力夫来れおとあに
 揚るふさうもたてとある
 二水あれのももちあうそ
 りもさう夫れもなやなえ
 今のお目こいふんさう
 ともあは夫れもあうそ
 夫れけうにふれあうそ
 ともあは夫れもあうそ
 夫れけうにふれあうそ

弓いたるのな射はまうつめ
もこしはく射ぬる心よ
弦みちと云ふ事あらぬ射は
海といもとらぬ船もあるれ
陰陽の初念成あらぬ射は
片おもひはあきそ有るを
あけいをもて射はるゝ何ぞ
志のあらん所なり
弓は川強流むくと云ふ二あり
木よりよりとたらしめり

。と物かゝるもあらずて射る人
。のまゝあるかゝるは可なり
。物なり。むと風をまねられて
まゝに流るるは去はぬあやに
梓弓いさむる神乃きまゝに邪
海にぬじまゝに神のまゝに
まゝに神のまゝに志有る
ちかへまゝに名をまゝに

有る奇志思ふに教化文字の教
成る如く得る書に志有る也。邪他見
有る同神者也。可秘云

文政十三^{庚寅}六月吉日

上羽又兵衛

蓋

上

九州大學圖書印

五十三